

令和元年 9 月 12 日
インフラメンテナンス国民会議中部フォーラム事務局
中部地方整備局

インフラメンテナンス国民会議中部フォーラム 建設現場のニーズにマッチする新たな技術を募集します。

インフラメンテナンス国民会議中部フォーラムでは、地方自治体における効率的かつ効果的なインフラメンテナンスの実現を図ることを目的に、現場ニーズと技術シーズをマッチングさせる取組みを行います。この度、中部地方整備局管内の関係機関における現場のニーズに対し、下記のとおり新たな技術の募集を行います。

1. 募集期間

令和元年 9 月 12 日（木）から令和元年 9 月 25 日（水）

2. 募集資料

- ① 募集要領（別紙-1）、作成要領・応募様式（別紙-2）
- ② ニーズテーマ（別紙-3、別紙-4）

3. マッチングについて

現場ニーズと応募されたシーズのマッチングイベント（公開）を以下のとおりに予定しています。

日時：令和元年 10 月 17 日（木）14:00～15:30（予定）

場所：名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）

第 2 ファッション展示場（3 階）

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ

5. 問い合わせ先

インフラメンテナンス国民会議中部フォーラム事務局

（玉野総合コンサルタント(株)内） 原田 TEL：052-979-9300

国土交通省中部地方整備局

企画部 企画課 課長補佐 塚本（敏） TEL：052-953-8127

「現場ニーズに対応する新たな技術（シーズ）」に関する募集要領

1. 募集の目的

本募集は、現場において解決したい課題（以下「ニーズ」という。）に対して、その課題を解決できる新たな技術（以下「シーズ」という。）を募集するものである。

2. 募集対象技術

国土交通省中部地方整備局管内の関係機関より収集された下記ニーズテーマに対して、マッチングできるシーズに成り得る可能性のある技術とする。

- 1) ニーズテーマ①：都市内での効果的な鳥害対策に資する技術（別紙－3）
- 2) ニーズテーマ②：高所作業車におけるコンクリート床版の補修作業中及び養生中の施工材料等の飛散防止技術（別紙－4）

3. 応募条件

- 1) ニーズテーマに関する悩み・課題の解決手段（新技術）を有する民間企業や団体。
団体の構成員は同一の企業、事業所、部署等に所属している必要はない。
- 2) 応募者（団体等の構成員を含む）及び応募者が属する企業の国籍は問わない。
- 3) 警察当局から暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずるものとして、国土交通省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- 4) 6. マッチングイベント（公開）に参加可能であること。
- 5) マッチングの可否についての選定等の過程において、選定等に係わる者（事務局等）に対して、応募技術の概要を開示しても問題がないこと。
- 6) 現場試行を実施できること。
- 7) 技術の導入実績の有無は問わない。
- 8) 応募技術を公共事業に活用する上で、関係法令に適合していること。
- 9) 選定された応募技術について、技術概要及び試験結果等を公表するので、これに対して問題が生じないこと。
- 10) 応募技術に係わる特許権等の権利について問題が生じないこと。

4. 応募方法

- 1) 応募資料の作成及び提出
 - ・ 応募資料は作成要領（別紙－2）に基づき作成すること。

- ・応募書類は下記提出先に電子メールにて送付すること。
- ・送付するメール（応募書類添付）の容量は5MB以下とすること。
- ・容量を超える場合は分割で送付すること。

2) 提出先

- ・〒461-0005 名古屋市東区東桜二丁目17番14号
インフラメンテナンス国民会議中部フォーラム事務局
E-mail : chubu-forum@tamano.co.jp

5. 応募期間

令和元年 9月12日（木）～ 令和元年 9月25日（水）17時まで（必着）

6. マッチングイベント（公開）

- ・提出された応募資料により、ニーズテーマとマッチングの可能性があるシーズについては後日通知し、マッチングイベントへの参加を依頼する。
- ・マッチングイベントでは、シーズ応募者において対象ニーズテーマに対して課題解決の手法やシーズの内容についてプレゼンテーション（公開）を実施して頂く予定としている。

・ マッチングイベント開催日

日時：令和元年 10月17日（木）14:00～15:30（予定）

場所：名古屋市中企業振興会館（吹上ホール）第2ファッション展示場（3階）

7. 技術の選定

1) 提案されたシーズについて、ニーズ提供者の意向を踏まえた上で、マッチングの可能性があると判断された場合は、ニーズ提供者、シーズ応募者及び事務局による個別調整を実施し、最終的なマッチングの可能性の可否について確認を行い選定するものとする。

2) 選定にあたっての前提条件

- ・募集対象技術、応募条件等に適合していること。
- ・応募方法、応募書類及び記入方法に不備がないこと。

8. 応募結果の通知・公表について

1) マッチング終了後、個別調整を経て最終的にシーズとして選定した技術については応募者に対して事務局より選定結果等を通知する。

2) 選定された技術についてはホームページ等で公表する。

9. 応募結果の取り消しについて

選定の通知を受けた者が次のいずれかに該当することが判明した場合は、通知の全部または一部を取り消すことがある。

- ・選定の通知を受けた者が虚偽その他不正な手段により選定されたことが判明したとき。
- ・選定の通知を受けた者から取り消しの申請があったとき。
- ・その他、選定通知の取り消しが必要と認められたとき。

10. 現場試行

選定された技術については、ニーズ提供者の現場において現場試行を実施する。

11. 費用負担等

- 1) 応募資料の作成及び提出に要する費用、マッチングイベントに参加する費用、現場試行を実施する費用は、応募者の負担とする。
- 2) 現場試行にあたって、機器の持ち込み、機器の設置・調整、河川・道路占用等の許可申請については応募者が行うことを原則とする。
- 3) 現場試行以外に、ニーズを解決するための試験・調査等に係る費用は、応募者の負担とする。

12. 留意事項

- 1) 応募者は、応募内容に係る知的財産権その他第三者の権利を侵害しないように注意し、必要がある場合には応募者の責任において適切に権利を利用すること。
- 2) 応募内容や機器の仕様等については、国土交通省HPサイト、その他の媒体に掲載されることがある。
- 3) 選定の過程において応募者には応募技術に関する追加資料の提出を依頼する場合がある。
- 4) 現場試行については応募者の責任において実施するものとする。なお、第三者に損害等が発生した場合は応募者の責任において対応すること。
- 5) 応募者は、応募の時点でこれらの条件に同意するものとする。

13. 問い合わせ先

・〒461-0005 名古屋市東区東桜二丁目 17 番 14 号
インフラメンテナンス国民会議中部フォーラム事務局
(玉野総合コンサルタント(株)内) 原田宛
TEL : 052-979-9300 FAX : 052-979-9272

E-mail : chubu-forum@tamano.co.jp

- ・ 〒460-8514 名古屋市中区三の丸二丁目 5 番 1 号 名古屋合同庁舎 2 号館
国土交通省 中部地方整備局 企画部 企画課 課長補佐 塚本（敏）

TEL : 052-953-8127 FAX : 052-953-8294

E-mail : tsukamoto-t852a@mlit.go.jp

- ・ 問い合わせについては、土・日・休日を除く平日9：30～17：00 までとする。ただし
12：00～13：00 は除く。

応募資料作成要領

1. 応募に必要な書類

- ①【応募様式－1】申請書・提案技術の概要書
- ②【応募様式－2】提案技術の詳細

2. 留意点

- ①申請書・提案技術の概要書【応募様式－1】
 - ・応募テーマ毎に作成してください。
 - ・各記載欄の記載要領に沿って記載してください。
- ②提案技術の詳細【応募様式－2】
 - ・応募テーマ毎に作成してください。
 - ・資料はA4版10枚程度に収まるようにして下さい。
 - ・資料はPDF形式としてください。
 - ・様式は問いません。既存のパンフレット等でも結構です。当該技術の仕様や導入効果等について可能な限り具体的に記載されている資料を添付してください。

3. 応募書類に使用する言語は日本語としてください。やむを得ず他国の資料を提出する場合は日本語で解説を加えてください。

応募するニーズテーマ				
応募者	企業・団体名			
	代表者		所属	
	住所	〒		
	担当者		所属	
	連絡先	TEL:	Email:	

提案技術のPR

1 提案技術の概要

・当該提案技術の内容を簡潔に記載してください。

※ニーズテーマに関する悩み・課題の解決のポイント、導入効果(維持管理の効率化やコスト縮減等)

2 図・写真

・提案技術の概要がわかる図や写真を添付してください。

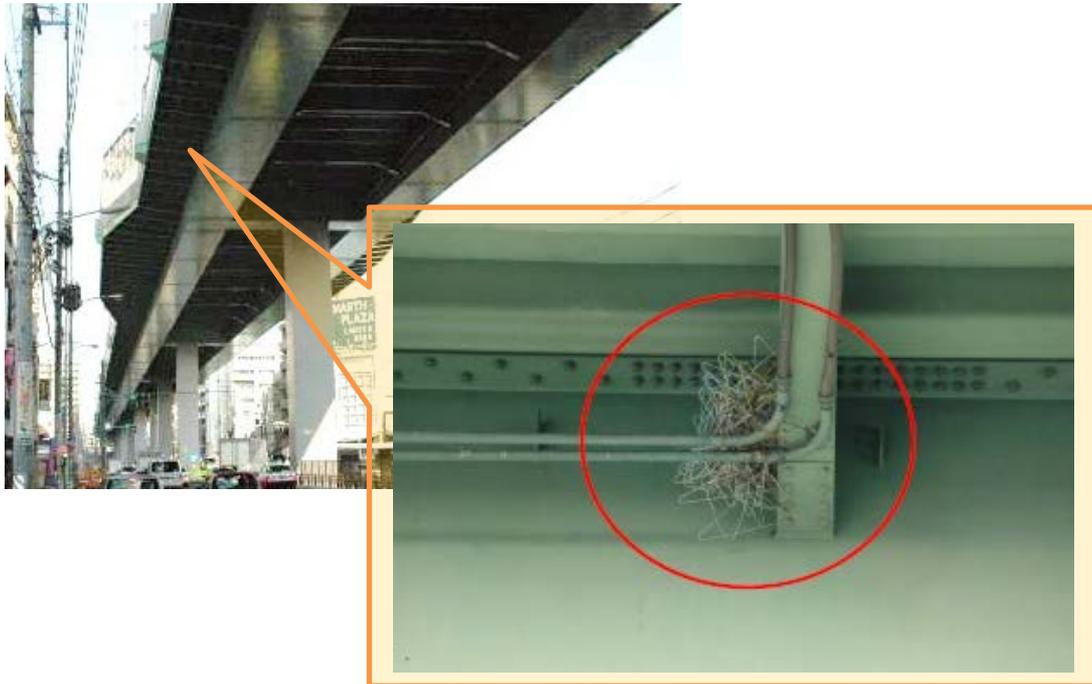
ニーズテーマ①

都市内での効果的な鳥害対策に資する技術

ニーズ説明資料

背景と現状

- 都市内の高架道路では、桁につくられた鳥の巣や堆積した糞が路下に落下することで第三者被害を引き起こす可能性がある。
- 鳥害の内容は、主に「カラスの巣」と「ハトの糞」



問題点

- 道路管理者として、点検等で確認した後、速やかに鳥の巣や鳥糞の撤去を行っているが、しばらくすると営巣等がある状況。
- これまで剣山や忌避剤の設置も実施しているが、効果は一時的であり決定的な対策とはなっていない状態。
- 鳥害防止ネットの設置も行っているが、狭隘な箇所まで設置が困難であり、また構造物の点検の支障にもなっている。



- 維持管理上支障にならず、長期間効果が持続するような鳥害対策技術が必要。

新技術に求める要件

- 高架橋に対し、長期間効果が持続する鳥害対策技術であること。
(5年程度以上持続することが望ましい)
- 高所作業車等を利用し簡易に設置・更新等の作業ができる技術であること。
- 高架橋の振動や風雨などの外部環境に耐え、継続して効果を発揮するものであること。
- 桁や橋脚等構造物からの落下、その他第三者被害のおそれがないものであること。

ニーズテーマ②

**高所作業車におけるコンクリート床版の補修作業
中及び養生中の施工材料等の飛散防止技術**

ニーズ説明資料

背景と現状 (1)

○都市内の高架道路にてコンクリート床版の劣化箇所の部分補修を実施する場合、床版直下が一般街路で車輛の通行があるため、作業のために夜間時間帯での車線規制を行い、高所作業車を使用して補修作業を行っている。



背景と現状（2）

1) 現況の落下物防止の方法

高所作業車のバケットの四隅に支柱を立て ネットを張り巡らせて床版とのスキマを出来るだけ無くすように養生し 作業を行っている。床版下面には横構や検査路が有る場合があり、補修するパネル(主桁と横桁に囲まれた範囲)毎に近づけられる距離や作業するための空間が異なる。

2) 現況の第3者被害防止の方法

原則、俯角75度線より外側に一般車両が通行する状態になるように車線規制を実施している。

問題点

- 規制帯内での高所作業となり、近接して一般車両が通行しているため、補修材料の飛散などによる第三者被害の発生が懸念されるため、飛散防止あるいは防護(以下、防護等)が必要である。
- 材料の養生時間中も防護等が必要である。
- 夜間の限られた時間内での作業である。



- 補修材料の飛散等を防止し第三者被害を予防するとともに、補修作業の支障にならないように短時間(30分程度未満が望ましい)での実施が可能で、かつ安全に作業できる防護等が必要。

新技術に求める要件

- 高所のコンクリート床版裏面を補修する際の施工材料等(はつりガラやコンクリート粉を含む)の飛散防止あるいは防護の技術であること。
- 都市内で行う高所作業において安全に実施可能で、新たな交通規制が発生しないこと。
- 作業中および養生中も安定して防護が可能であること。
- 作業工程に支障を及ぼさない技術であること。